

期待と恐怖の間で揺れ動く市場

新たな関税の発表、インフレリスク、ディープシーク革命にもかかわらず、依然、ポジティブ優勢の市場心理が継続している。米国でマグ7の優位性が薄れ始め、欧州の株価が史上最高値を更新する状況は、株式ラリーが拡大していることの証であろう。しかし、米国の1月の消費者物価指数（CPI）が予想を上回り、1年半ぶりの高水準を記録したことや、いくつかの米国経済指標が弱くなり始めたことを受けて、新たな懸念が浮上しており、不確実性は依然として非常に高い水準にある。現在のポジティブな市場心理が続くかどうかを見極めるには、以下のテーマに注目すべきであろう：

- **第1に、最大の懸念材料はインフレ**であり、インフレに対する市場の感応度は依然として高く、これはトランプ大統領にとって大きなチャレンジとなる可能性がある。最近の消費者調査では、消費者の長期インフレ予想が2008年以來の高水準となる3.3%に急上昇し、そのバラつきも80年代以降で最も大きくなっている。
- **第2に、インフレ率が徐々に低下するにつれて世界の成長は安定化するとみられるが、トランプ政権下の政策の不確実性がリスクを高めている。**
- **第3に、ユーロ圏はECBの金融政策の明確な方向性によって支えられている。**選挙後のドイツの財政支援と国防費増額の可能性は、モニターすべき重要なテーマである。
- **最後に、トランプ大統領の関税措置に対する慎重な対応からも明らかなように、中国は破滅的な貿易戦争を回避することに注力している。**

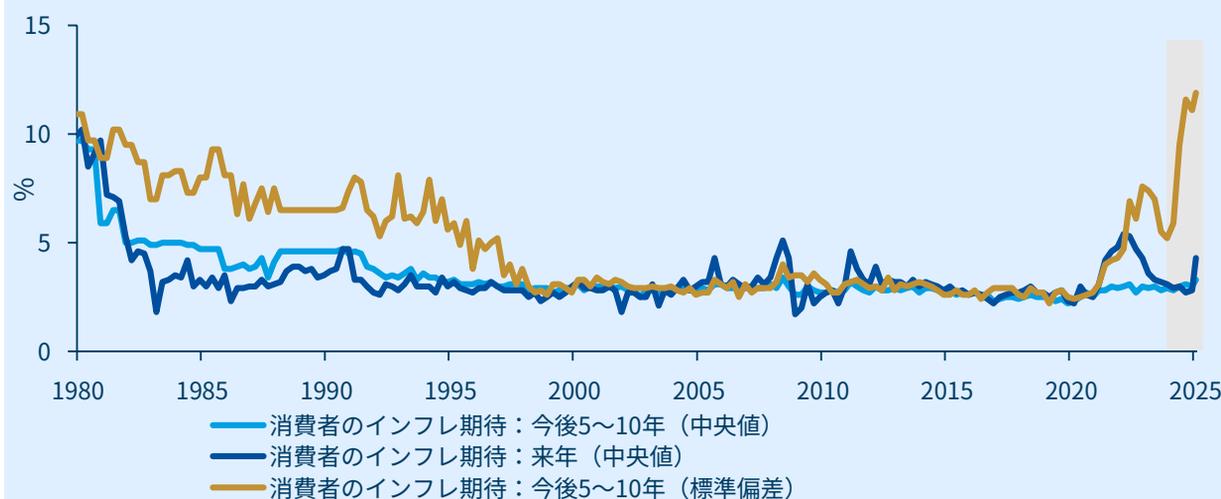


VINCENTMORTIER
GROUP CIO



MONICADEFEND
HEAD OF AMUNDI
INVESTMENT
INSTITUTE

消費者のインフレ期待は上昇、バラつきも拡大



出典：アムンディ・インベストメント・インスティテュート、ブルームバーグ、データはミシガン大学消費者調査を参照。2025年2月20日現在。

これらは、リスク資産にとって、依然、環境はポジティブであることを意味するが、自己満足に陥っている部分もあるため、より魅力的な機会を提供するセグメントへのローテーションと、分散投資の強化継続が必要である。

- **債券では、ユーロ圏の成長回復が遅れ、ECBの利下げ継続が予想されるため、ユーロ圏のデュレーションをポジティブに修正した。**米国では、FRBの金利の再評価が急速に進んでいる。アムンディは、引き続き2025年内の再利下げを予想している。金融政策スタンスは、現状、抑制的であり、また、財政状況も比較的平穏であるため、FRBが利上げに踏み切る可能性は今のところ非常に低いと考えている。グローバル・クレジットについては、米国とユーロ圏ともに、底堅い経済活動、緩やかなインフレ、金融政策の抑制緩和の組み合わせに支えられ、見通しは明るい。アムンディは、欧州の投資適格債クレジットを 선호する一方、バリュエーションが割高となっている米国のハイイールド債には慎重な姿勢を継続している。
- **株高を幅広く活用する。**米国との比較においてバリュエーションがより魅力的であること、また英国の経済見通しは相対的に弱いことを考え、ユーロ圏の株式への選好を強めている。欧州では、頑健なバランスシートと高い価格決定力を持つ銘柄に注目している。米国では、メガ・キャップ以外のセクターにおいて、銀行と素材を好み、予想される減税と規制緩和の恩恵を受けられる国内志向の銘柄を探索する。
- **新興国市場では、マクロ経済と地政学的動向を踏まえ、全般的には中立のスタンスを維持している。**インドについては、最近の売り越しによってバリュエーションが低下、業績修正に底打ちの兆しが見られたことから、ポジティブな見方を強めている。
- **クロスアセット：リスク資産に対するポジティブな見方を維持する。**投資機会を捉えるためのローテーションを進め、株式とクレジットにポジティブなスタンスで臨む。特に、**欧州株式についてはポジティブな見方を強めたが、日本株については、円高と潜在的なボラティリティが懸念される中、当面、成長にむけたカタリストがないと見ているため、見方をポジティブから中立に変更した。**全体的なアロケーションにおいては、潜在的なリスク・シナリオにおける回復力を高めるため、株式へのヘッジ強化とデュレーションを適度に維持する一方、**金へのポジティブなスタンスは引き続き継続する。**

不確実性が高いにもかかわらず、投資環境は依然として株式を支持している。ここでは、ウクライナ停戦の可能性があり、米国に比べてバリュエーションが良好な欧州の機会を愛好する。

全体的なリスク・センチメント

リスクオフ

リスクオン

全体的なリスク・スタンスは、株式のローテーションと全体的なデュレーションでのスタンスがポジティブであることから、ややポジティブなスタンスを維持する。

総合的なリスク・センチメントは、様々な投資プラットフォームによって表明され、グローバル投資委員会で共有されるリスク資産（クレジット、株式、コモディティ）に対する定性的見解である。アムンディのスタンスは、市場および経済的背景の変化を反映して調整されることがある。

ECB=欧州中央銀行、DM=先進国市場、EM=新興国市場、CB=中央銀行、IG=投資適格、HY=高利回り、HC=ハード・カレンシー、LC=現地通貨。その他の定義については、本文書の最終ページを参照のこと。

対前月での変更

- 債券：デュレーション・スタンスを戦術的に調整
- クロスアセット：欧州株式へのポジティブなスタンスを強め、日本株式は中立スタンスに変更

3つの重要な質問

1

トランプ大統領の相互関税についてどう考えるか？

トランプ大統領は、2月13日、不均衡貿易への対処と、非互恵的な貿易協定への対抗を目指した「公正かつ互恵的な貿易計画」を発表した。しかし、最新、かつ正確で一貫性のある二国間関税データの入手が困難なこともあり、これらの措置の実行は、決してすでに決まったということではない。関税引き上げの影響を考慮し、アムンディは、最近、米国の成長率予想をやや下方修正し、インフレ予想を上方修正した。これはソフトランディングの見通しを変えるものではないが、米国経済が、他国との比較において「例外的」ということではなく、より早期に長期成長トレンドに回帰することを意味するものである。

投資の示唆

- グローバル株式への分散投資のスタンスを維持
- 金にはポジティブ

2

米国の最新のインフレ動向をどう見るか？

直近の消費者物価指数（CPI）を見ると、インフレ率は、依然、粘着性が高く、ヘッドライン・インフレ率は前年比3.0%、コアインフレ率は同3.3%に上昇した。このような数字となった今年最初のインフレ指標には、通常年明けに実施される年次物価上昇率に加え、若干の季節調整効果が反映されている可能性がある。このような季節的ノイズにもかかわらず、年前半のヘッドラインCPIは2.6%前後で推移し、年後半には2.9%まで上昇すると予想している。全体として、FRBは利下げに対して「急がない」アプローチを採用し、当面は、米新政権の政策が経済に与える影響を注視しながら、利下げを休止するであろうとアムンディは考えている。

投資への示唆

- 米国債カーブの中間部分を選好し、デュレーションを戦術的に活用

3

インドの2025-26年予算をどう評価するか？

インドの最新の予算は財政再建を示唆している。2026年度の財政赤字は、対GDP比で現在の4.9%から4.4%に縮小する見通しだ。中間層の可処分所得を増やすために所得税制が見直され、食料補助金は増加する予定である。農村地域の経済状況を改善するための、農村地域に向けた枠組みの強化が予想される。この発表を受けて、インド中銀は経済成長を支援するため、基準金利を25bp引き下げ6.25%とした。

投資への示唆

- インド株式に対する戦略的なポジティブ・スタンスを維持

米国FRBは、高水準の財政赤字の予想や労働供給ショックの可能性など、不透明な見通しに直面している。これらは、インフレと成長の見通しに大きく影響するであろう。

**MONICA
DEFEND**
HEAD OF AMUNDI
INVESTMENT
INSTITUTE



*2%は米国の政策転換に関する仮定の結果であり、本稿執筆時点では不明である。

マルチアセット

インフレの不確実性に対応

2024年第4四半期のデータによって、各国間で傾向が異なっていることが明らかになったが、**全般的には緩やかな経済成長を予想している**。米国は、底堅い個人消費に牽引されて堅調な成長が続いているが、欧州では成長の勢いが弱まっている。貿易戦争をめぐる不確実性により、世界の成長は下振れリスクに直面しており、各国中銀の動きは足並みが揃わなくなっている。FRBは一時的に利下げを休止、ECBは中立金利に着実に近づくことを決定、日銀は2025年にも利上げを継続すると予想されている。全体として、マクロ経済、クレジット、流動性の各環境は依然として相応に支援的ではあるが、インフレ・リスクと年後半の潜在的な業績改善の両方に留意し、株式のヘッジと金による広範なリスク分散を愛好する。

若干の調整はあるものの、リスク資産に対するポジティブな背景に変わりはなく、**株式へのポジティブな見通しを維持する**。ハト派的なECBと、他市場に比べて魅力的なバリュエーションを踏まえ、**ユーロ圏株式へのポジティブなスタンスをさらに強めた**。成長プレミアムは依然、新興国市場、特に中国に優位となっており、成長促進・景気刺激策により関税の影響が緩和されると予想している。

債券では、5-30年債のイールドカーブはスティーブ化するとの見方を維持、米2年国債に引き続きポジティブである。また、EUの金利にも引き続きポジティブだが、**英国の金利については、割安感が薄れたと判断し、ポジティブな見方を取り下げた**。日本国債については引き続き慎重だが、ドイツ国債に対してのイタリア国債へのポジティブなスタンスは維持している。**欧州の投資適格債が、クレジット市場で最も妙味があるとの見方に変わりはないが、新興国のハード・カレンシー債と現地通貨建て債については中立を維持している**。

地政学的リスクとインフレ主導のボラティリティをヘッジするために、金への配分を維持しながら、バリュエーションが割高に見える米国株式へのヘッジと、インフレ・リスクをコントロールするためのデュレーションへのヘッジを検討すべきだと考える。

FRANCESCO SANDRINI
HEAD OF MULTI-ASSET STRATEGIES

JOHN O'TOOLE
HEAD OF MULTI-ASSET INVESTMENT SOLUTIONS

インフレ・リスクと地政学的不確実性に対してはアクティブにヘッジをかけつつも、欧州での投資機会についてはポジティブな見方を維持している。

アムンディ・クロス・アセット見通し



出典：アムンディ、この表は、直近のグローバル投資委員会で表明された見解に基づき、3ヶ月から6ヶ月の期間でクロスアセット評価を行ったものである。アセットクラスの評価に関する見通し、見通しの変更および意見は、予想される方向性 (+/-) および確信の強さ (+/+/+/+) を反映している。この評価は変更される可能性があり、ヘッジ構成要素の影響を含む。FX=外国為替、BTP=イタリア国債、BoJ=日本銀行、JGB=日本国債、BOE=イングランド銀行。その他の定義および通貨略語については、本資料の最終ページを参照のこと。

債券

めまぐるしく変化する金利予想

トランプ大統領の政策がインフレと成長に与える影響は、2025年におけるFRBの動向を検討するうえで最大の関心事となってきた。当初はインフレ率の上昇を懸念していた市場も、現在では成長率が期待外れとなるリスクを織り込み始めている。その結果、FRBの動向に対する市場の期待は、大幅に、かつ急速に見直されている。このような市場の大きな動きは、**アクティブなデュレーション・スタンスを維持し、広範に投資機会を探索すること**を求めている。全体として、アムンディは、デュレーションとクレジットに対するポジティブなスタンスを維持し、クオリティが高く、残存期間の短い債券を嗜好している。新興国市場では、ハード・カレンシー債と現地通貨建て債の両方を嗜好し、全体としては中立を維持する。

グローバルおよび
欧州の債券

- デュレーションについては全般的にポジティブに見ている。ユーロ圏と英国のデュレーションについては、金利低下の余地があると考えられるため、**ポジティブなスタンス**をやや強めた。日銀はさらなる利上げを示唆しているため、円債のデュレーションには引き続き慎重である。
- アムンディは、**クレジットにもポジティブ**である。ユーロ圏の金融セクターを嗜好し、ハイイールド債より投資適格債によりポジティブである。
- 為替に関しては、**日本円と米ドルを嗜好**、英ポンドへのスタンスも**ポジティブ**に引き上げた。ユーロと人民元には引き続き慎重である。

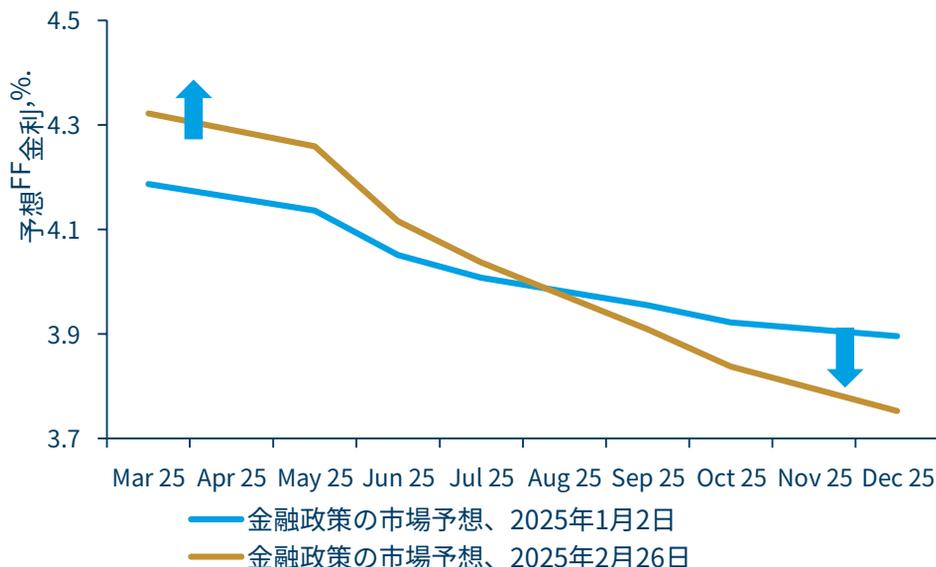
米国債券

- デュレーションについては、**引き続きタクティカルに対応し**、妥当なリスク・リターンが期待できる中期ゾーンを引き続き**選好**する。
- クレジットでは、クオリティの高い銘柄を嗜好し、より満期までの期間の短い銘柄にシフトしている。**先月よりは後退したもの**の、依然として**資本財セクターより金融セクター**を嗜好している。
- スプレッドは数年来の低水準にあり、利回りのバリュエーションもあまり魅力的でないため、レバレッジド・ローンなどの**ハイイールド債オルタナティブ**を引き続き選好する。

新興国債券

- デュレーションへの**中立スタンス**を維持し、利回りが上昇すればデュレーション・リスクを追加するスタンスを継続する。
- **ハード・カレンシー債**について、**アムンディの見通しは引き続きポジティブ**だが、**選別も重視**する。
- 現地通貨建て債では、金融政策の余地が大きい国を嗜好し、メキシコ・ペソのような戦術的機会も探索している。
- **クレジット、特にハイイールド債セグメント**については、大幅なスプレッド拡大は予想されないため、引き続き**ポジティブ**に見ている。

FRB金利見通しへの市場の大幅な見直し（先物市場）



**AMAURY
D'ORSAY**
HEAD OF
FIXED INCOME

**YERLAN
SYZDYKOV**
GLOBAL HEAD OF
EMERGING MARKETS

**MARCO
PIRONDINI**
CIO OF US
INVESTMENT
MANAGEMENT

出典：アムンディ・インベストメント・インスティテュート、ブルームバーグ、2025年2月26日現在。データは先物による2025年の予想金利を示している。

株式

市場のローテーションは継続

米国のアウトパフォーマンスは長期にわたって継続、2023年以降はAIをめぐる熱狂にも牽引されて上昇が加速した。しかし、2025年の最初の数ヶ月、このトレンドに一服感が見られ、米国外の市場、特に欧州が米国をアウトパフォーマンスしている。関税、AI開発、そして依然として高い集中リスクをめぐる不確実性が拡大する中、**市場の主要テーマは依然として分散**である。欧州株式は、バリュエーションが相対的に魅力的で、業績修正とリスクセンチメントの改善も引き続き支援材料となる。アジアの新興国市場にも投資機会は存在し、最近、売却が一巡したインドがより魅力的である。

欧州株式

- 市場のラリーの裾野拡大が欧州株式にとって非常にポジティブであることに変わりはない。市場は引き続き、**トランプ大統領の政策の潜在的な影響**を注視するであろう。
- 欧州については、**バランスシートが強固で、高い回復力と強靭なビジネスモデルを持つ銘柄**を注視する。
- セクター別では、資本財とテクノロジーには引き続き慎重で、テレコム株もより慎重になっている。生活必需品とヘルスケアについてはポジティブなスタンスを維持し、高級品への投資機会を狙っている。

グローバルおよび米国株式

- アムンディは、**安定した収益モメンタムを有し、投資資金に対するリターンが高い銘柄**に注目している。米国株は全般的に割高な水準にあるため、**メガ・キャップからのシフト**はリスク・センチメントの反転によるバリュエーション下落の影響を緩和するのに有益であろう。
- **トランプ大統領の政策から恩恵を受ける銘柄**に引き続き注目している。
- ハイテクや消費者セクターには慎重で、素材や、イーロードカーブ上昇の恩恵を受けられる銀行などの金融セクターを 선호する。

新興国株式

- 地政学的不確実性と関税リスクのため、**新興国株式には中立を維持する**。ただし、メキシコと韓国には反発の可能性がある。
- インドについては、直近の売り越しや業績修正による底打ちの兆しを受けて、ポジティブな見方を一段強めた。インドネシアについては引き続きポジティブな見方を維持する一方、台湾については成長が不透明な中、慎重に見ている。
- セクター・レベルでは、リーズナブルな価格で安定した収益を提供する不動産と生活必需品を 선호する。

米国の年初来パフォーマンスと世界のその他の国々の比較



出典：アムンディ・インベストメント・インスティテュート、ブルームバーグ、2025年2月24日現在。MSCIインデックスの米ドル・トータル・リターン。

BARRY GLAVIN
HEAD OF EQUITY PLATFORM

YERLAN SYZDYKOV
GLOBAL HEAD OF EMERGING MARKETS

MARCO PIRONDINI
CIO OF US INVESTMENT MANAGEMENT

▼ 前月比で引き下げ
▲ 前月比で引き上げ

アムンディのアセットクラス見通し

今月の注目

- **インカムを求めるなら魅力的なクレジット**：企業のファンダメンタルズは堅調で、信用力が高まっている。高い利回りがインカムを求める投資家を引き付け、ネットでの供給が限られているなど、テクニカルな条件も需要を後押ししている。

株式とグローバル要因

地域	対前月変化	--	-	=	+	++	グローバル ファクター	対前月変化	--	-	=	+	++
米国					◆		グロース					◆	
欧州						◆	バリュー						◆
日本	▼					◆	小型						◆
新興国					◆		クオリティ						◆
中国					◆		低ボラ						◆
新興国 (除く中国)					◆		モメンタム						◆
インド	▲					◆	高配当						◆
全体						◆							

債券および為替

国債 (デュレーション)	対前月変化	--	-	=	+	++	クレジット	対前月変化	--	-	=	+	++
米国	▼					◆	米国 投資適格債						◆
欧州						◆	米国ハイ イールド債						◆
英国						◆	欧州 投資適格債						◆
日本						◆	欧州ハイ イールド債						◆
全体						◆	全体						◆
新興国債券	対前月変化	--	-	=	+	++	通貨	対前月変化	--	-	=	+	++
中国国債						◆	米ドル						◆
インド国債						◆	ユーロ						◆
ハードカレンシー債券						◆	英ポンド						◆
現地通貨建て債券						◆	円						◆
新興国社債						◆	人民幣						◆

出典：2025年2月19日に開催された直近のグローバル投資委員会で表明された見解の要約、米国のデュレーションに関する見解は2025年3月3日現在で更新されている。ユーロベースの投資家に対する見解。見解の範囲はダブルマイナスからダブルプラスまでで、=は中立のスタンスを意味する。本資料は特定の時点における市場の評価を示すものであり、将来の事象の予想や将来の結果を保証するものではない。本情報は、読者による調査、投資助言、または特定のファンドや証券に関する推奨として依拠されるべきではない。本情報は厳密には例示および教育目的であり、変更される場合がある。本情報は、アムンディ商品の現在、過去または将来の実際の資産配分やポートフォリオを表すものではない。FXの表はグローバル投資委員会の絶対的FX見解を示す。

Trust must be earned

In an increasing complex and changing world, investors need to better understand their environment and the evolution of investment practices in order to define their asset allocation and help construct their portfolios. This environment spans across economic, financial, geopolitical, societal and environmental dimensions. To help meet this need, Amundi has created the Amundi Investment Institute. This independent research platform brings together Amundi's research, market strategy, investment themes and asset allocation advisory activities under one umbrella; the Amundi Investment Institute. Its aim is to produce and disseminate research and Thought Leadership publications which anticipate and innovate for the benefit of investment teams and clients alike.

DISCOVER MORE



Follow us on



Visit the
Research Center

THIS EDITION'S CONTRIBUTORS

CLAUDIA BERTINO
Head of Amundi Investment Insights & Publishing

LAURA FIOROT
Head of Investment Insights & Client Division

POL CARULLA
Investment Insights and Client Division Specialist

UJJWAL DHINGRA
Investment Insights and Client Division Specialist

PAULA NIALL
Investment Insights and Client Division Specialist

FRANCESCA PANELLI
Investment Insights and Client Division Specialist

DEFINITION ABBREVIATIONS

Currency abbreviations: USD – US dollar, BRL – Brazilian real, JPY – Japanese yen, GBP – British pound sterling, EUR – Euro, CAD – Canadian dollar, SEK – Swedish krona, NOK – Norwegian krone, CHF – Swiss Franc, NZD – New Zealand dollar, AUD – Australian dollar, CNY – Chinese Renminbi, CLP – Chilean Peso, MXN – Mexican Peso, IDR – Indonesian Rupiah, RUB – Russian Ruble, ZAR – South African Rand, TRY – Turkish lira, KRW – South Korean Won, THB – Thai Baht, HUF – Hungarian Forint, INR – Indian Rupiah.

IMPORTANT INFORMATION

The MSCI information may only be used for your internal use, may not be reproduced or disseminated in any form and may not be used as a basis for or a component of any financial instruments or products or indices. None of the MSCI information is intended to constitute investment advice or a recommendation to make (or refrain from making) any kind of investment decision and may not be relied on as such. Historical data and analysis should not be taken as an indication or guarantee of any future performance analysis, forecast or prediction. The MSCI information is provided on an "as is" basis and the user of this information assumes the entire risk of any use made of this information. MSCI, each of its affiliates and each other person involved in or related to compiling, computing or creating any MSCI information (collectively, the "MSCI Parties") expressly disclaims all warranties (including, without limitation, any warranty of originality, accuracy, completeness, timeliness, non-infringement, merchantability and fitness for a particular purpose) with respect to this information. Without limiting any of the foregoing, in no event shall any MSCI Party have any liability for any direct, indirect, special, incidental, punitive, consequential (including, without limitation, lost profits) or any other damages. (www.msicbarra.com). The Global Industry Classification Standard (GICS) SM was developed by and is the exclusive property and a service mark of Standard & Poor's and MSCI. Neither Standard & Poor's, MSCI nor any other party involved in making or compiling any GICS classifications makes any express or implied warranties or representations with respect to such standard or classification (or the results to be obtained by the use thereof), and all such parties hereby expressly disclaim all warranties of originality, accuracy, completeness, merchantability or fitness for a particular purpose with respect to any of such standard or classification. Without limiting any of the foregoing, in no event shall Standard & Poor's, MSCI, any of their affiliates or any third party involved in making or compiling any GICS classification have any liability for any direct, indirect, special, punitive, consequential or any other damages (including lost profits) even if notified of the possibility of such damages.

This document is solely for informational purposes. This document does not constitute an offer to sell, a solicitation of an offer to buy, or a recommendation of any security or any other product or service. Any securities, products, or services referenced may not be registered for sale with the relevant authority in your jurisdiction and may not be regulated or supervised by any governmental or similar authority in your jurisdiction. Any information contained in this document may only be used for your internal use, may not be reproduced or redisseminated in any form and may not be used as a basis for or a component of any financial instruments or products or indices. Furthermore, nothing in this document is intended to provide tax, legal, or investment advice. Unless otherwise stated, all information contained in this document is from Amundi Asset Management S.A.S. and is as of 28 February 2025. Diversification does not guarantee a profit or protect against a loss. This document is provided on an "as is" basis and the user of this information assumes the entire risk of any use made of this information. Historical data and analysis should not be taken as an indication or guarantee of any future performance analysis, forecast or prediction. The views expressed regarding market and economic trends are those of the author and not necessarily Amundi Asset Management S.A.S. and are subject to change at any time based on market and other conditions, and there can be no assurance that countries, markets or sectors will perform as expected. These views should not be relied upon as investment advice, a security recommendation, or as an indication of trading for any Amundi product. Investment involves risks, including market, political, liquidity and currency risks. Furthermore, in no event shall Amundi have any liability for any direct, indirect, special, incidental, punitive, consequential (including, without limitation, lost profits) or any other damages due to its use.

Date of first use: 3 March 2025. DOC ID: 4285688

Document issued by Amundi Asset Management, "société par actions simplifiée"- SAS with a capital of €1,143,615,555 - Portfolio manager regulated by the AMF under number GP04000036 - Head office: 91-93 boulevard Pasteur, 75015 Paris - France - 437 574 452 RCS Paris - www.amundi.com.

Photo credit: Unya-MT @gettyimages

本資料のご利用に当たっての注意事項等

本資料は、アムンディ・インベストメント・インスティテュートが一般・参考情報の提供を目的として作成した資料を弊社が一部翻訳したものです。

本資料は、本資料に含まれるいかなる金融商品の販売や媒介を意図、または購入・売却の勧誘を目的としたものではありません。

本資料は法令に基づく開示資料ではありません。

本資料中に記載したアムンディ・インベストメント・インスティテュートの見通し、予想、予想意見等（以下、見通し等）は、当資料作成日現在のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。また、見通し等や過去の運用実績を含むいかなる内容も、将来の投資収益等を示唆または保証するものではありません。

本資料は、信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性、完全性について保証するものではありません。

本資料に記載されている内容は、全て本資料作成日以前のものであり、今後予告なしに変更される可能性があります。

本資料に含まれる情報から生じるいかなる責務（直接的、間接的を問わず）を負うものではありません。

弊社の許可なく、本資料を複製または再配布することはできません。

アムンディ・ジャパン株式会社

金融商品取引業者登録番号：関東財務局長（金商）第350号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

日本証券業協会

一般社団法人第二種金融商品取引業協会